

平成21年12月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年5月12日

上場会社名 株式会社ファンコミュニケーションズ
 コード番号 2461 URL <http://www.fancom.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長
 四半期報告書提出予定日 平成21年5月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 柳澤 安慶
 (氏名) 杉山 紳一郎

上場取引所 JQ

TEL 03-5766-3530

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年12月期第1四半期の業績(平成21年1月1日～平成21年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年12月期第1四半期	1,838	36.8	288	43.0	308	46.5	181	47.9
20年12月期第1四半期	1,343	△6.9	201	△19.9	210	△18.3	122	△18.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年12月期第1四半期	1,889.15	1,766.16
20年12月期第1四半期	1,246.89	1,139.55

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年12月期第1四半期	5,087	3,397	66.3	35,179.03
20年12月期	4,867	3,348	68.3	34,618.28

(参考) 自己資本 21年12月期第1四半期 3,371百万円 20年12月期 3,322百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年12月期	—	0.00	—	1,200.00	1,200.00
21年12月期	—	—	—	—	—
21年12月期(予想)	—	0.00	—	1,300.00	1,300.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年12月期の業績予想(平成21年1月1日～平成21年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	3,300	16.6	480	6.8	500	8.6	270	12.2	2,770.19
通期	6,900	14.1	1,040	8.7	1,070	10.8	590	11.0	6,053.37

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年12月期第1四半期	101,860株	20年12月期	101,860株
② 期末自己株式数	21年12月期第1四半期	6,033株	20年12月期	5,874株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	21年12月期第1四半期	95,956株	20年12月期第1四半期	98,293株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の4ページを参照してください。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、米国のサブプライムローン問題に起因した大手証券会社の破綻等により、金融市場の混乱を招き、雇用情勢の悪化から個人消費も低迷する中、経済対策の効果も未だ表れず、引き続き景気停滞の状況となっております。

このような状況の中、当社の主要事業であるインターネットマーケティングサービス分野は、ADSLや光ファイバー等のブロードバンドの普及、インターネット利用者やブログ（日記形式のWebサイト）開設者の増加、携帯電話でのデータ通信利用者の拡大によるトラフィック数（データ通信量）の増加、電子商取引推進企業の広がりとともに、今後も引き続き拡大が予測されております。また、昨今の景気低迷の影響を受けて、広告主はより費用対効果の高い広告であるアフィリエイト広告を再評価しはじめており、個人消費も節約志向からインターネットの利用頻度が伸びております。

当第1四半期会計期間におきましては、広告主やパートナーサイトの管理画面やブログサービスのリニューアルなどユーザビリティの向上や、広告主とパートナーサイトの関係をより強固なものにするためのコミュニケーション、サービス品質向上を重視した営業活動を行いました。また、アフィリエイト広告と純広告を組み合わせた提案などを強化しました。この結果、当第1四半期会計期間の売上高は、1,838,203千円（前年同期比36.8%増）となりました。また、営業利益は、288,333千円（前年同期比43.0%増）、経常利益は営業外収益に受取利息を16,863千円、デリバティブ評価益を5,600千円計上したことなどにより308,708千円（前年同期比46.5%増）となり、当期純利益は181,275千円（前年同期比47.9%増）となりました。

○ サービス区分別の売上高の内訳

（千円未満切捨て）

サービス区分	平成21年12月期第1四半期		平成20年12月期第1四半期		平成20年12月期	
	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）	金額（千円）	構成比（%）
パソコン向け アフィリエイト広告サービス	1,295,521	70.5	1,098,678	81.7	4,743,661	78.5
携帯向け アフィリエイト広告サービス	387,133	21.1	194,286	14.5	1,015,333	16.8
自社媒体運営	39,116	2.1	40,385	3.0	160,949	2.7
他社媒体広告販売	116,313	6.3	10,405	0.8	121,272	2.0
その他売上	118	0.0	143	0.0	3,515	0.0
総売上高	1,838,203	100.0	1,343,899	100.0	6,044,731	100.0

なお、主力サービスであるアフィリエイト広告サービスにおける事業年度末（当第1四半期末）の利用広告主数（稼働広告主ID数）、参加メディア数（登録アフィリエイトサイト数）は、下記のとおりであります。

サービス	区分	平成21年12月期 第1四半期	平成20年12月期
パソコン向け アフィリエイト広告サービス 「エーハチネット」	稼働広告主ID数	2,141	2,184
	登録アフィリエイトサイト数	736,124	695,391
携帯向け アフィリエイト広告サービス 「モバハチネット」及び「アドカボ」	稼働広告主ID数	897	773
	登録アフィリエイトサイト数	57,196	51,385
当社 アフィリエイト広告サービス 合計	稼働広告主ID数	3,038	2,957
	登録アフィリエイトサイト数	793,320	746,776

[アフィリエイト広告サービスの状況に関する定性的情報等]

当第1四半期末における、パソコン向けアフィリエイト広告サービス「エーハチネット」の状況は、利用広告主数が2,141社、参加メディア数が736,124サイトとなりました。一方、携帯向け同サービス「モバハチネット」及び「アドカボ」においては、利用広告主数の合計が897社、参加メディア数の合計が57,196サイトという結果になりました。当第1四半期末における両サービスを合わせた利用広告主数は3,038社（前期末比102.7%）、参加メディア数は793,320サイト（前期末比106.2%）になっております。

なお、当第1四半期末の「エーハチネット」の利用広告主数が前期末と比較し減少しているのは、新規稼働広告主ID数が減少したためであります。

このような状況を鑑み、前期から引き続き当社営業体制の強化、コンサルティングの品質向上やサービス内容の見直し、プロモーション内容の改善等を推進しております。

2. 財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期末における総資産は、前事業年度末に比べて220,010千円増加し5,087,970千円となりました。前事業年度末からの主な増加原因としましては、現金及び預金が1,330,769千円（前事業年度末は1,139,890千円）と190,878千円増加したこと、売掛金が775,976千円（前事業年度末は711,018千円）と64,957千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期末における負債は、前事業年度末に比べて170,389千円増加し1,690,113千円となりました。前事業年度末からの主な増加原因としましては、未払法人税等が112,774千円（前事業年度末は213,000千円）と100,225千円減少した一方、買掛金が1,092,827千円（前事業年度末は952,456千円）と140,371千円増加したこと、未払金が177,651千円（前事業年度末は83,368千円）と94,283千円増加したこと、未払配当金が36,053千円（前事業年度末は3,753千円）と32,300千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期末における純資産は、前事業年度末に比べ49,621千円増加し3,397,856千円となりました。前事業年度末からの主な増加原因としましては、配当金の支払により115,202千円減少、自己株式の取得により15,591千円減少した一方、四半期純利益を181,275千円計上したことによるものであります。この結果、当第1四半期末における自己資本比率は66.3%となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年2月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

固定資産の減価償却費の算定方法として定率法を採用している場合に、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法としております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

2. 貯蔵品については、従来、主として最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。なお、これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,330,769	1,139,890
受取手形及び売掛金	776,280	712,087
有価証券	829,730	1,135,316
その他	186,606	102,049
貸倒引当金	△28,309	△25,280
流動資産合計	3,095,076	3,064,064
固定資産		
有形固定資産		
建物	19,118	19,118
減価償却累計額	△6,820	△6,366
建物(純額)	12,298	12,752
工具、器具及び備品	144,935	147,078
減価償却累計額	△100,573	△98,226
工具、器具及び備品(純額)	44,362	48,851
有形固定資産合計	56,660	61,604
無形固定資産		
ソフトウェア	104,901	111,706
ソフトウェア仮勘定	41,616	40,605
その他	714	—
無形固定資産合計	147,232	152,312
投資その他の資産		
投資有価証券	1,570,745	1,365,816
その他	224,289	227,774
貸倒引当金	△6,034	△3,611
投資その他の資産合計	1,788,999	1,589,979
固定資産合計	1,992,893	1,803,895
資産合計	5,087,970	4,867,959

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年3月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,092,827	952,456
短期借入金	35,000	40,000
未払法人税等	112,774	213,000
賞与引当金	20,132	38,530
その他	341,510	185,388
流動負債合計	1,602,244	1,429,375
固定負債		
長期預り保証金	87,868	90,349
固定負債合計	87,868	90,349
負債合計	1,690,113	1,519,724
純資産の部		
株主資本		
資本金	928,100	928,100
資本剰余金	1,180,050	1,180,050
利益剰余金	1,920,868	1,854,795
自己株式	△578,551	△562,959
株主資本合計	3,450,467	3,399,985
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△79,366	△77,115
評価・換算差額等合計	△79,366	△77,115
新株予約権	26,755	25,365
純資産合計	3,397,856	3,348,235
負債純資産合計	5,087,970	4,867,959

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
売上高	1,838,203
売上原価	1,208,288
売上総利益	629,915
販売費及び一般管理費	
給料	113,833
貸倒引当金繰入額	7,124
賞与引当金繰入額	18,691
その他	201,932
販売費及び一般管理費合計	341,581
営業利益	288,333
営業外収益	
受取利息	16,863
デリバティブ評価益	5,600
その他	320
営業外収益合計	22,784
営業外費用	
支払利息	109
減価償却費	2,234
その他	64
営業外費用合計	2,409
経常利益	308,708
特別損失	
固定資産除却損	240
特別損失合計	240
税引前四半期純利益	308,467
法人税、住民税及び事業税	110,780
法人税等調整額	16,412
法人税等合計	127,192
四半期純利益	181,275

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	308,467
減価償却費	14,413
株式報酬費用	1,389
賞与引当金の増減額(△は減少)	△18,397
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,451
受取利息及び受取配当金	△16,863
固定資産除却損	240
デリバティブ評価損益(△は益)	△5,600
売上債権の増減額(△は増加)	△66,615
仕入債務の増減額(△は減少)	140,371
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,568
前受金の増減額(△は減少)	3,115
未払金の増減額(△は減少)	473
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,480
その他	8,818
小計	381,353
利息及び配当金の受取額	4,021
利息の支払額	△109
法人税等の支払額	△207,560
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△193,500
投資有価証券の償還による収入	400,000
有形固定資産の取得による支出	△439
無形固定資産の取得による支出	△4,059
その他	1,065
投資活動によるキャッシュ・フロー	203,066
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,000
自己株式の取得による支出	△16,568
配当金の支払額	△68,323
財務活動によるキャッシュ・フロー	△89,892
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	290,878
現金及び現金同等物の期首残高	1,139,890
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,430,769

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

前第1四半期累計期間(平成20年1月1日～3月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,343,899
II 売上原価	765,617
売上総利益	578,281
III 販売費及び一般管理費	376,678
営業利益	201,603
IV 営業外収益	9,532
V 営業外費用	395
経常利益	210,740
VI 特別利益	4,080
VII 特別損失	5,385
税引前四半期純利益	209,435
法人税、住民税及び事業税	62,910
法人税等調整額	23,965
四半期純利益	122,560

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期累計期間 (平成20年1月1日～3月31日)

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
区分	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	209,435
減価償却費	11,472
賞与引当金の増減額	△21,311
貸倒引当金の増減額	△4,557
受取利息及び配当金	△7,078
固定資産除却損	5,385
投資有価証券売却益	△600
売上債権の増減額	△23,159
仕入債務の増減額	42,365
未払消費税等の増減額	1,677
前受金の増減額	△17,980
未払金の増減額	8,716
預り保証金の増減額	5,800
その他	6,897
小計	217,062
利息及び配当金の受取額	5,395
利息の支払額	△137
法人税等の支払額	△190,074
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,246
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	100,600
投資有価証券の償還による収入	1,000,000
投資有価証券の取得による支出	△1,299,655
有形固定資産の取得による支出	△6,793
無形固定資産の取得による支出	△14,974
投資活動によるキャッシュ・フロー	△220,823

	前年同四半期 (平成20年12月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	△5,000
自己株式の取得による支出	△122,444
配当金の支払額	△72,397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△199,841
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の増加額(又は減少額)	△388,419
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,504,936
VII 現金及び現金同等物の期末残高	1,116,517

6. その他の情報

該当事項はありません。